

登別市中央地区まちづくり協議会全体会議 議事録

開催概要

日 時 令和6年7月4日（木） 18:00～19:45

場 所 登別商工会議所3階

出席者 別紙のとおり

1 開会

2 全体会議の開催について

【会長】

- ・協議会の設立から、1年半以上が経過し、最終的な提言の取りまとめを意識していく必要がある。
- ・これまでは、3つの協議事項のうち、「中心地にある商業施設の活性化」を先行して協議し、これについては、中間報告として市に提言を提出したところである。
- ・最終提言のとりまとめに向けて、本格的な議論を再開するにあたり、協議会本体とワーキンググループの全体会議を開催し、思いの共有を図りたい。
- ・会議はワークショップ形式で行う。

【事務局】

- ・これまでの協議の振り返り
- ・他市町村の事例について
- ・新庁舎の整備状況について

3 ワークショップ

- ・各グループからの意見等について

現庁舎跡地の具体的な利活用方法

グループA

- ・新庁舎の情報提供で子育て支援施設があったが、跡地に同様の施設を建てても無駄ではないかと思う。新庁舎に子育て支援施設は任せるが、他市の施設に行ってしまうことのないような魅力的な施設整備をしてほしい。
- ・専門学校のオープンキャンパスなどで保護者等が近隣市に宿泊せざるを得ない状況もあるとのことから宿泊施設やはり検討すべき。
- ・宿泊施設については、市内に元々あった宿泊施設の再開を第一候補に検討してほしい（民間誘致が難しいと考えられるため）。第1候補が難しいのであれば、第2候補として跡地に宿泊施設の誘致を検討とするのはどうか。
- ・旅行先では寄ってもらえることが多い施設として道の駅が話題に出たが、他の遊休地もあり、幌別東小学校の跡地の方が、周辺環境や道路状況からも適しているのではといった意見があった。
- ・まちの中に道の駅をつくるのであれば市民も足を運びやすい市場をコンセプトにしてはどうか。他にも、鬼に特化した道の駅（例えば、辛いものだらけなど）など特色のあるものの方が話題になる。

グループB

- ・宴会、会議のできるスペースの併設された宿泊施設が必要。
- ・宿泊施設前に交通拠点となるターミナルなどを設置することで、人が集まりやすくなるのではないか。

グループC

- ・新庁舎の機能を考えると子育て支援施設は新庁舎で（児童館もできることを踏まえると重複するため）
- ・宿泊施設、宴会場の必要性を感じている（跡地か再利用かは検討）
- ・跡地での賑わいを創出するため、観光客がくるような場づくりの議論があった。

現庁舎、アーニス周辺の環境整備

グループA

- ・地域交通については、大型バスの運転手が不足することもあるので、普通免許で利用できるコミュニティバスの運用を検討するの
はどうか。
- ・カーシェアリングの利用や、まちのなかにレンタサイクルがあってもいいのではないか。
- ・中央地区でイベントが続くが、場所を確保するためには、交通規制をするしかないため、既存の公園の周辺で、未利用地があれば、
スペースとして確保できないか。
- ・廃墟となっている場所があるので、そういった場所をどのようにしていくか考えていく必要がある。
- ・周辺地域の河川を整備したり、イベントを開催したりするなど既存のものを使った取組も考えてはどうか。

グループB

- ・周辺地域の廃墟をどうにかできないものか。危険なものについては取り壊すことができないのか。
- ・高齢化を考えると交通整備は必要だと考える。タクシーを乗合で利用するため、利用者が自らマッチングできるようなアプリなど
を開発してみるのはいかがでしょうか。

グループC

- ・個別ニーズに対応した交通手段、ライドシェアなどのしくみを検討してはどうか。
- ・建設をしないことでフリースペースとしたり、市民農園の実施、イベントを継続するための場所を確保したりするといった逆の発
想はどうか。
- ・道の駅までもいかないが物販スペース機能のある施設はできないか。

4 その他

【事務局】

- ・次回からは、再び本体とワーキンググループに戻って協議を進める。
- ・次回以降は、本日の全体会議の結果も基にしながら、議論を深めていきたいと思う。引き続きご協力をお願いしたい。

5 閉会

19時45分 閉会